

これまで区に求めてきたこと、今後も求めていきたいこと

- リリオ亀有リノベーションプロジェクト事業の見直しと事業効果の検証
- 会計年度任用職員の休暇制度に対する処遇改善、再度の任用での経験加算
- 生活困窮者支援の強化と安定した住まいの確保
- 低廉で質の良い住宅供給、公営住宅増、家賃助成制度拡充
- 給付型奨学金の創設
- 香害(化学物質過敏症)についての周知・対策
- 羽田空港新飛行ルートの実現に関わる状況と区民からの苦情・相談状況の注視 など

みずま雪絵は、1人でも入れる労働組合ユニオンネットお互いさまの一員です。職場で困ったときに助け合うのはお互いさまです。介護労働者だった経験をもとに、葛飾区議会の活動を行い、働く人の支援をしています。

働く人を大切にする葛飾区を目指し、安心して働き、生活できる社会を葛飾区からつくっていきます。



みずま雪絵さんを応援しています

福島みずほ(参議院議員)
瀬戸大作(反貧困ネットワーク事務局長)
白崎朝子(介護福祉士・ライター)

みずま雪絵のプロフィール

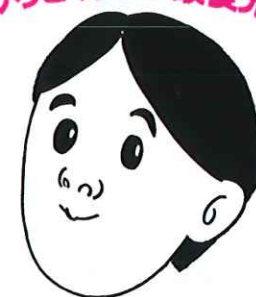
1984 年葛飾区お花茶屋生まれ 区立上千葉小学校 区立青葉中学校卒業
都立墨田川・堤高校卒業 東京福祉専門学校卒業
2004 年～葛飾区内の介護老人保健施設・訪問介護事業所に勤務
2013 年～葛飾区議会議員 2017 年～2 期目 2021 年～3 期目
★介護福祉士 ★ユニオンネットお互いさま副委員長 ★趣味:ソフトボール



葛飾区議会議員

みずま雪絵の 号外② 区議会レポート

いのちとくらしが最優先!



〒125-0063 葛飾区白鳥 3-26-13 中村荘 101

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP http://mizuma-yukie.org

働く人を大切にする葛飾区へ

労働条項を定めた公契約条例、会計年度任用職員の処遇改善・正規化など

公契約条例に労働報酬下限額を定め、障害者雇用、ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画等の理念を実現することを目指した条例に改正し、公共事業を担う民間事業者で働く人の労働環境を守ることを目指しています。また、非正規の公務員である会計年度任用職員の処遇改善と、恒常的な業務には正規職員を充てることを求めています。公共・民間共に、安心して働き続けられる労働環境・条件が必要です。



安心して地域で生きていくために

「つらい」「困った」「心配」を共に考え、解消していく

生活困窮、生活保護、住まいの確保、介護・障害、子ども・子育て支援や道路補修、公園・ベンチ環境、ごみ出しについて等、これまで地域からの様々なご相談やご意見を伺ってきました。制度や区政運営に課題があることは、議会で取り上げて改善・見直しを求めています。

いのちとくらしが最優先!



区民の税金は 区民の暮らしへ

駅前再開発事業への区の支援のあり方と、区が優先すべきもの

リリオ亀有リノベーション事業の負担金歳出(10 年協定)、金町六丁目駅前再開発ビルフロアの買い入れ、現在は立石駅北口地区再開発ビルへの区役所移転の費用高騰が問われます。再開発事業を成り立たせるための税金投入は見直し、方向変換が必要ではないでしょうか。葛飾区の駅前再開発事業への税金投入について、問いかけ見直しを求めています。

少子高齢化が進み、納税者人口は減少します。公共・公助の強化が必要です。福祉・公共サービスで働く人の処遇改善と確保、学校はじめ区施設の整備・強化、災害対策の強化、生活困窮者支援の強化等、区民生活に深く関わる優先すべきことがあります。

介護従事者の確保、介護事業者を支え、 働き続けられる現場と条件を

2000年に開始した介護保険制度。介護従事者の不足が長く課題にされており、国の処遇改善加算も見直されてきています。区では資格取得に係る費用助成・合同就職説明会・ICT機器や介護ロボット等機器導入費用への助成、介護職員ハラスメント相談窓口等、人材確保の施策を行っていますが、なかなか効果的なものとはなっていません。

特に2024年介護報酬改定で訪問介護は基本報酬減となり、事業所経営の逼迫と訪問介護員の不足が顕著です。みずま雪絵は、区の施策が介護職員の確保や定着に、効果的なものとなっているのか、区内介護事業者にアンケート調査をするよう求め続け、区では「介護人材確保調査」が行なわれるようになりました。この調査では、離職・不足の要因は「給与・収入面」が高い割合となっています。国による調査でも同様です。

みずま雪絵は、☆「都が行っている居住支援特別手当に上乘せする等、区独自の住宅費負担の軽減施策を行うこと」☆「国に対し、交付金のような保険料や利用料に跳ね返らない形での処遇改善に係る財源確保とするよう求めること」を区に求めています。

品川区では区内訪問介護事業所に2026年度末まで引き下げられた介護報酬の差額分の給付を独自支援し、世田谷区でも昨年度に介護事業者に独自給付を行なっています。本来ならば、国が介護現場の窮状を受け止め、制度改正や財政措置すべきですが、「今現在」が苦しい事業者への具体策が出てこないことで、自治体が動いている状況です。

国では介護職の賃上げを進めるよう議論が進められていますが、大きな改善がなければ、やはり自治体である葛飾区が独自給付を含め検討し、現場を支える施策を行なう必要があります。

「介護保険制度の改善を求める請願」

	自民	公明	区民	共産	みらい	無所属	無所属	無所属	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
介護保険制度の改善を求める請願	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×

2022年第3回定例会では、「介護保険制度の改善を求める請願」が提出されました。

請願は、サービス利用料の引き上げ、要介護1、2の生活援助などの保険はずし、ケアプランの有料化などの見直しを行わないことや、公費による介護従事者の給与引上げ、介護保険料、利用料、食費・住居費などの負担軽減、介護報酬の改善、介護保険財政の国庫負担の割合の引き上げを求め、区議会から国へ意見書提出を求めるものです。みずま雪絵は請願の紹介議員となり、賛成しました。しかし、賛成少数により不採択となりました。

地域公共交通会議の設置と公共交通の維持

2024年問題以前より、公共交通の維持や様々な課題・路線バスの減便は問題となっていました。みずま雪絵は、2018年第1回定例会から区、都、事業者、区民、関係団体等となる地域公共交通会議を設置し、バス交通の充実のみならず、少子高齢社会に対応する公共交通を整備していくことなど、新たなニーズに対しての検討・議論がより効率的に行えるようにするべきと求めました。2023年より地域公共交通会議が開催され、公共交通の課題について議論されています。

また、公共交通の維持・路線バスの減便と運転手不足・運行に対する事業者支援、駅構内のバリアフリー化を求めています。

女性支援法に基づく計画策定と相談・伴走支援体制の構築を

女性支援法(困難な問題を抱える女性への支援に関する法律)が、2024年4月に施行しました。DV、性暴力・性犯罪被害、家庭関係の破綻や生活困窮など、多様化・複雑化・複合化する女性を巡る課題に対し、早期に切れ目のない支援を行なうために制定されました。地方公共団体の責務についても規定されており、区は計画策定努力義務があります。

コロナ禍で、女性は不安定・低賃金で生活困窮になりやすい労働実態や、社会が疲弊したときに暴力被害にあいやすい立場であることが可視化されました。

みずま雪絵は計画策定、区の相談・伴走支援の体制を構築していくよう区に求めています。

子どもや高齢者、マイノリティが生きやすい社会は、誰にとっても生きやすい社会です。地域から、ジェンダー平等社会を目指し、あらゆる差別に反対します。

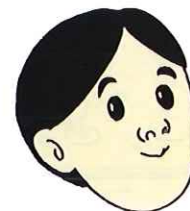
葛飾区では、被差別部落出身であることを理由に、結婚や就職等の社会的な差別解消をする取り組みや、人権に関する相談窓口など、あらゆる人々の人権擁護の施策をおこなっています。

2025年葛飾区議会第1回定例会で、区議会は全会一致で選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書を可決しました。

	自民	公明	区民	共産	みらい	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



男女平等推進センターにて、世界各国の女性解放運動や男女平等推進の広報に使われたポスター展(2023年)、「ジェンダーフリーかるた」(2024年)の展示を地域の女性たちと開催しました。



みずま雪絵のホームページ
過去の議会リポート等をご覧ください。
右のQRコードをスマホ等で読み込んで下さい。

